



『紫陽花』

鮮やかな新緑の季節が過ぎ、夏を思わせる暑さの日があり、季節の変化を感じる時期となりました。校内の花壇にも紫陽花の花が見られるようになりました。私は紫陽花というと梅雨の季節をイメージしてしまいましたが、実は日にあたって鮮やかな色の花が咲くのだそうです。そしてやはり水切れに弱いので真夏ですと1日2回は水やりをした方がよいそうです。「あじさい」の名前の由来には諸説ありますが、藍色が集まったものを意味する「集真藍（あづさあい・あづさい）」がなまって「あじさい」となった説が有力とされています。また、紫陽花はもともと日本固有の植物で古い時代から親しまれていて、万葉集にも「あじさい」を詠んだ歌があります。そこでは、「味狭藍」「安治佐為」とかかれていました。「紫陽花」となったのは、中国の唐の詩人である白居易が別の花につけた「紫陽花」を平安時代の学者が「あじさい」にあてたからだと言われています。ですので「紫陽花」は「紫（あ）陽（じ）花（さい）」と読むのではなく、3字の表記で「紫陽花（あじさい）」と読むのです。私は初めてこの漢字を見たときは全く読めませんでした。小説の中に出てきたり、歌の歌詞に出てきたりしたことから調べて読み方が分かりました。

『学校安全ネットワーク連絡会議』

5月22日に、本校で学校安全ネットワーク連絡会議を開催しました。御多用の中、防犯ボランティアリーダーの山崎様をはじめ、防犯ボランティア、交通指導員、子どもひなん所110番の家、PTAから多くの方々に御来校いただきました。会議の中では、児童の登下校の様子や保護者の方々による登校指導、不審者があった際の対応、子どもたちの放課後の遊んでいる場所などが話題となりました。また、防犯ボランティアリーダーの山崎様からは、「子どもに対する声掛け事案」について、資料を基に県内の発生件数や曜日、時間帯、具体的な事例について情報提供をしていただきました。参加していただいた皆様から様々なお話をいただき、情報交換・情報共有する貴重な時間となりました。ありがとうございました。改めまして、日頃より児童安全のために見守り、御指導をいただいています地域の皆様、保護者の皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

『いじめ撲滅強化月間』

さいたま市では、6月を「いじめ撲滅強化月間」と位置付け、全てのさいたま市立学校において、いじめの未然防止に向けた取組を行います。本校でも6月に以下の取組を行い、いじめやいじめ防止について考え、いじめを許さない学校づくりを推進していきます。

- ◎「ストップいじめ！」啓発用ポスターを活用した学級スローガンづくり
- ◎児童会・委員会活動（5・6年生）によるいじめ防止を目指した取組
- ◎お話朝会での校長講話（5月28日に実施）
- ◎学校だよりや学年だよりによる家庭・地域へのお知らせ
- ◎いじめ未然防止に向けた学級担任による指導
- ◎いじめに関する児童アンケート・保護者アンケートの実施

保護者の皆様におかれましては、引き続き、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

6月も保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援、御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。